

# 岩手県感染症週報

令和4年第9週 (2月28日～3月6日)

岩手県感染症情報センター

## 第9週の概要

### 1 類感染症

- 患者発生 の 報告は ありません でした。

### 2 類感染症

- 結核 の 報告が 2例 あり ました。その うち 1例 は 潜在性 結核 感染症 でした。

### 3 類感染症

- 患者発生 の 報告は ありません でした。

### 4 類感染症

- レジオネラ症 の 報告が 1例 あり ました。

### 5 類感染症 (全数把握対象疾患)

- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 の 報告が 1例 あり ました。

### 5 類感染症 (定点把握対象疾患)

- 感染性胃腸炎は、ノロウイルスによる集団感染事例が宮古地区の保育所2施設と介護保険事業所、奥州地区の認定こども園で発生しました。胃腸炎ウイルスは、消毒用アルコールが効きにくいいため、石けんと流水による手洗いが重要です。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用して塩素系薬剤で適切に処理しましょう。

### ○ 新型インフルエンザ等感染症

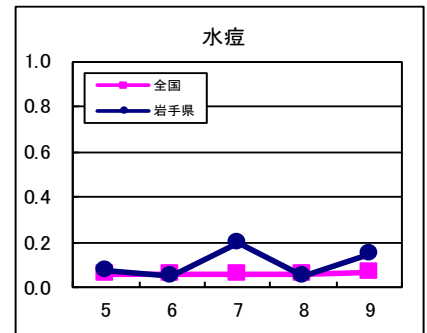
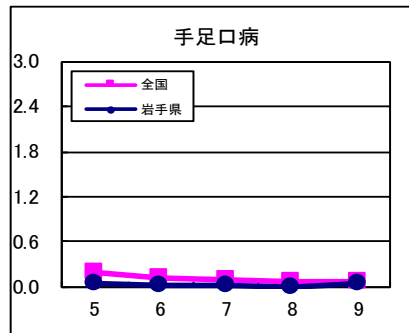
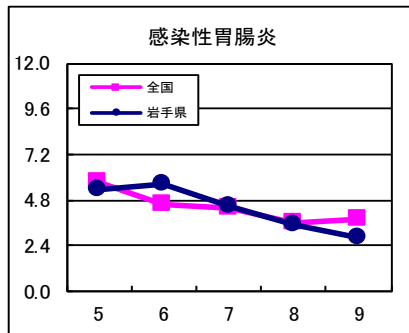
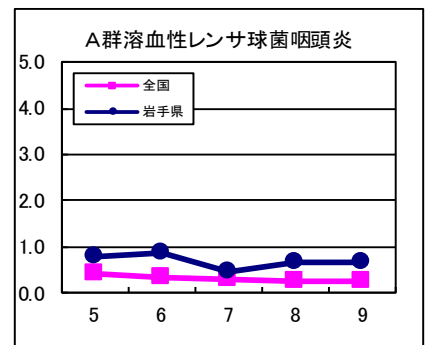
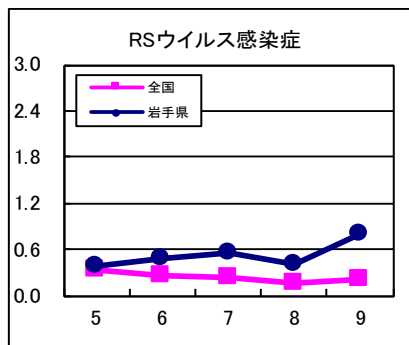
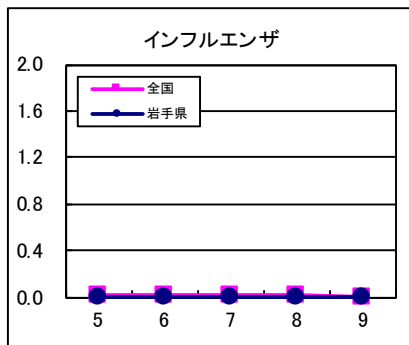
- 新型コロナウイルス感染症は、この週の新規患者報告数は1868人でした。同週に新たに確認されたクラスターは教育保育施設が14件で最も多く、次に学校の4件でした。学校は春休みシーズンを迎えますが、春休み期間中も3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）は避け、発熱や咳など症状がある時は外出せずに医療機関を受診することが大切です。また、学校や保育施設等に加えて家庭が感染拡大の機会となっています。家庭内でもマスク着用やこまめな手洗い等の基本的な感染対策が推奨されます。

「岩手県・新型コロナ対策  
パーソナルサポート  
(@iwatevscovid19)  
ID検索またはQRコードか  
ら友達追加



## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。  
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		5	6	7	8	9		
インフルエンザ	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00		
RSウイルス感染症	岩手県	0.38	0.48	0.55	0.40	0.80	→	☆
	全国	0.34	0.26	0.23	0.17	0.20		
咽頭結膜熱	岩手県	0.25	0.25	0.23	0.13	0.18	→	☆
	全国	0.17	0.13	0.13	0.10	0.10		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.80	0.88	0.45	0.68	0.68	→	☆
	全国	0.40	0.32	0.31	0.27	0.25		
感染性胃腸炎	岩手県	5.40	5.65	4.45	3.48	2.80	↘	☆
	全国	5.74	4.55	4.36	3.65	3.81		
水痘	岩手県	0.08	0.05	0.20	0.05	0.15	→	☆
	全国	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07		
手足口病	岩手県	0.05	0.03	0.03	0.00	0.05	→	
	全国	0.19	0.13	0.09	0.08	0.06		
伝染性紅斑	岩手県	0.00	0.00	0.05	0.03	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
突発性発疹	岩手県	0.28	0.33	0.45	0.23	0.40	→	☆
	全国	0.24	0.23	0.24	0.20	0.24		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.10	0.05	0.03	0.00	0.00	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.05	0.00	0.00	0.10	0.00	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00		
流行性角結膜炎	岩手県	0.07	0.07	0.00	0.07	0.00	→	
	全国	0.16	0.12	0.13	0.11	0.15		
細菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.00		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→	
	全国	-	-	-	0.00	0.00		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	2	2	4	3	2		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)	岩手県					全国	
		5	6	7	8	9	累計	9	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	2 (1)	2 (1)	6 (2)	1 (0)	2 (1)	17 (7)	202	2135
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	8
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	4	10	125
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	5	71
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	13
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	4
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	41
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	1	3	14	178	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 5	6	7	8	9	累計	9	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	7	75
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	0	30
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	1	1	23	220
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	2
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	43
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	35
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	12	131
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	8	143
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	32
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	1	0	0	1	9	191
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	0	3	41
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	2	110	1587
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	3	25
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	8
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	25
百日咳	0	1	0	0	0	1	13	101	
風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	1	
※ 新型コロナウイルス感染症		981	1139	1663	2230	1868	9130	440742	3642253

※新型インフルエンザ等感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和3年2月13日～)

今注目の感染症

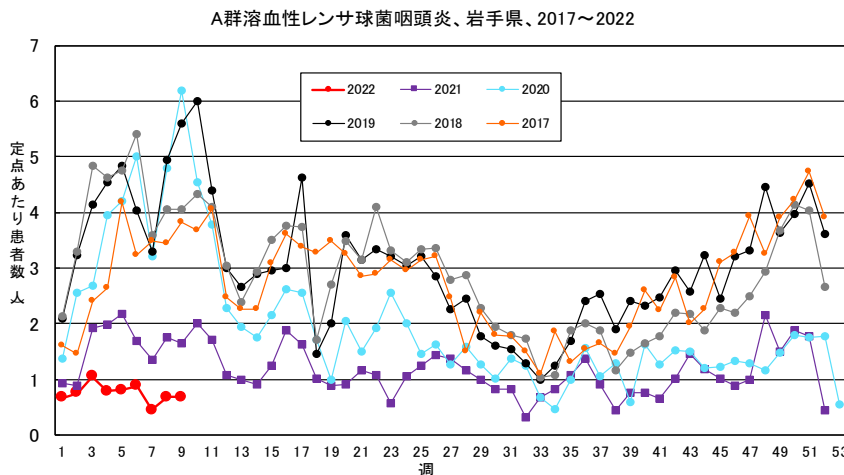
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、同菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2~5日で、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感等を発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後急性腎炎を併発することがあるので、7~10日間の抗菌薬内服が必要です。予後良好の疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には、猩紅熱に発展する場合があります。

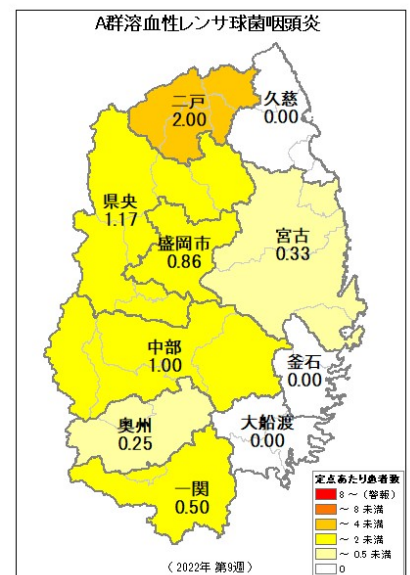
予防には、患者との濃厚接触を避けることが最も重要で、手洗いの励行、マスクを用いた咳エチケットも重要です。

【参考】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



岩手県のA群溶血性レンサ球菌咽頭の発生状況 (2017年～2022年第9週)



第9週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。  
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報) を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

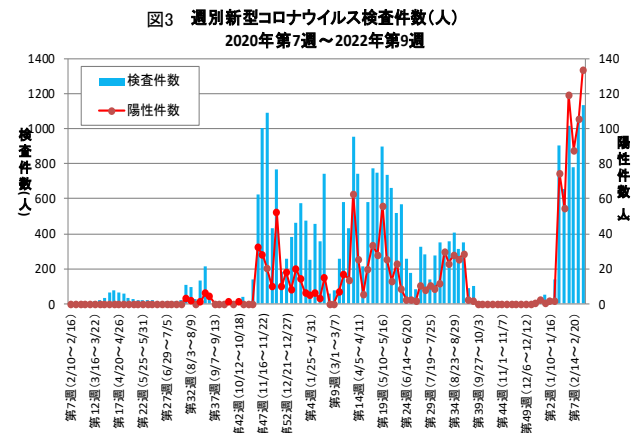
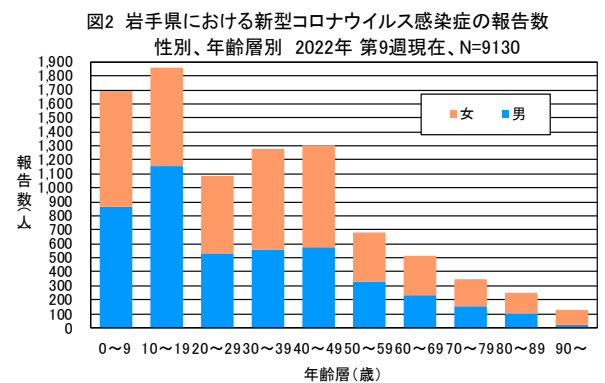
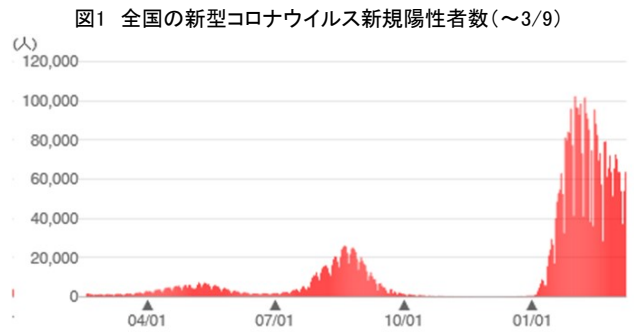
新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。令和3年2月13日に指定感染症から新型インフルエンザ等感染症になりました。

国内の発生状況は図1 (厚生労働省HPより)のとおりです。岩手県では、県内初の報告が2020年7月29日に2例あり、2020年は394例、2021年は3101例の報告がありました。2022年は第9週までに9130例が報告されています。予防には、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3つの密」(換気の悪い密閉空間、人が多数集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面)を避けるようにしましょう。

環境保健研究センターで行っている新型コロナウイルスのPCR検査件数と陽性件数の推移、岩手県の新型コロナウイルス陽性者の年齢層別は図2および図3のとおりです。

当センターにおける検査は、2020年2月上旬から開始しました。2022年第9週の検査件数は1138件で、開始以来の最多となっています。



<<<岩手県の電話相談窓口>>>

○受診・相談センター (コールセンター)

受付時間 24時間 全日 (土日・祝日含む)

TEL:019-651-3175 FAX: 019-626-0837

- ①発熱等の症状が生じた場合は、まず「かかりつけ医」に電話でご相談ください。
- ②相談先に迷う場合や「かかりつけ医」がない場合は、「受診・相談センター」にご相談ください。
- ③①または②での紹介・案内に従い、「診療・検査医療機関」を受診してください。

詳しくは、岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページを御覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/iryuu/covid19/index.html>

また、新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いします。

◆参考

新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

新型コロナウイルス (2019-nCoV) 関連情報について

－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年のように世界で流行がみられます。潜伏期間は1日～3日程で、38℃以上の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状が突然現れ、鼻水や咳などの呼吸器症状が続きます。

岩手県では、例年11月下旬から12月頃に流行入りし、1月から3月頃に患者数が増加します。2020/21シーズンの報告数は、患者実数で6人であり、流行開始の目安である定点あたり患者数1.0人を上回ることなく低調でした(図1及び2)。今シーズンは、第9週までの患者実数は5人で、第9週の県内各保健所管内ごとの定点あたり患者数は図3のとおりです。

主な感染経路は、咳やくしゃみ、会話などから発生する飛沫による感染(飛沫感染)と、飛沫の付着物に触れた手指などを介した接触感染です。予防には、マスクの着用などの咳エチケットによる飛沫感染対策と、手洗いによる接触感染対策が挙げられ、この他にワクチン接種が効果的です。ワクチンによる予防効果が現れるまでには2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種を希望される方は、事前に医療機関にお問い合わせください。

【参考】

- ・インフルエンザとは (国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>
- ・インフルエンザ -総合ページ- (厚生労働省)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html)
- ・インフルエンザ -疫学情報- (国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>

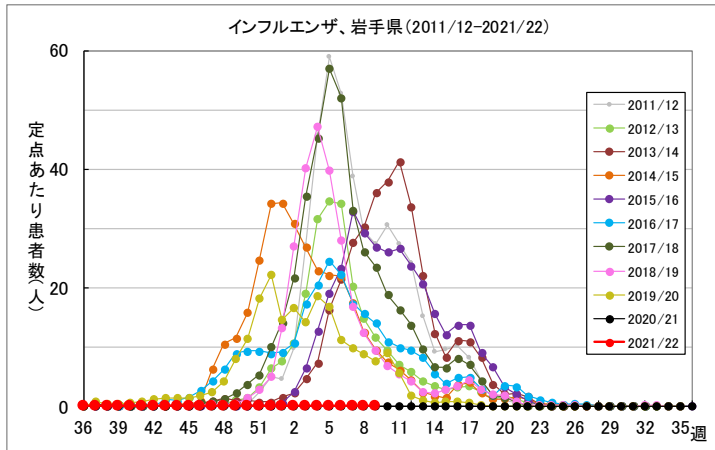


図1 岩手県のインフルエンザの発生状況 (2011/12年～2021/22年第9週)

図2 各シーズンの流行入り・注意報・警報を超過した週

シーズン	流行入り	注意報発令	警報発令	ピーク	定点あたり患者数
	定点あたり患者数	定点あたり患者数	定点あたり患者数		
2012/2013	1.0人	10.0人	30.0人	5	34.58
2013/2014	48	5	8	11	41.28
2014/2015	47	48	52	1	34.3
2015/2016	1	3	6	6	32.88
2016/2017	45	2	-	5	24.45
2017/2018	48	1	3	5	56.98
2018/2019	50	1	3	4	47.11
2019/2020	42	50	-	52	22.06
2020/2021	-	-	-	-	-
2021/2022	-	-	-	-	-

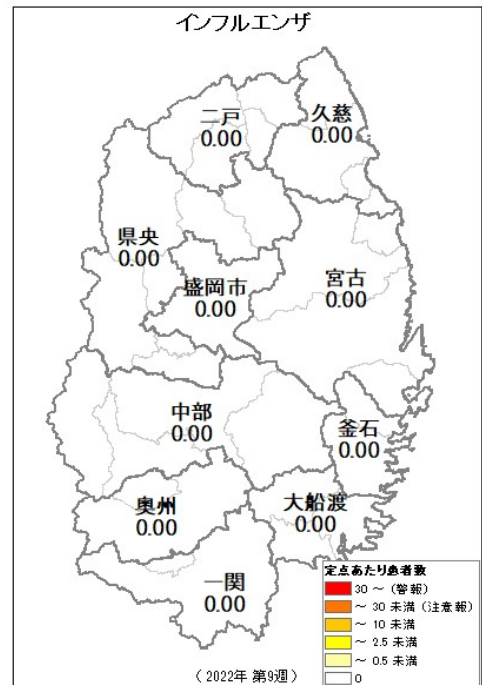


図3 第9週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報(行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。  
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが大部分を占めています。感染性胃腸炎の原因ウイルスは、手指や食品などを介して経口感染し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄は重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

全国の感染性胃腸炎の報告数は、例年11月頃から増加して12月にピークを迎えます(図1)。

一方、県内の感染性胃腸炎の報告数は、全国と同様の流行形態をとる年とそうでない年があります(図1及び2)。2021年は、第42週(10月下旬)から年末に向けて増加し、第51週の定点あたり患者数は5.30人、令和4年第3週にピークとなり第9週は2.80人となっています。また、県内各保健所管内ごとの定点あたり患者数は図3のとおりです。

県内の集団感染事例は、2021年4月から2022年第9週までに52例報告されています。このうち50例がノロウイルス、1例はサポウイルス、1例はノロウイルスとアストロウイルスを原因とするものでした。感染性胃腸炎の主な原因となるウイルスは、感染力が非常に強く、少量のウイルスでも感染する特徴があります。教育・保育施設や老人福祉施設などの集団生活を営む施設では、感染予防対策の再確認が勧められます。

ウイルス性胃腸炎の予防方法は以下のとおりです。

- (1) 用便後、調理前、食事前には石けんと流水で十分な手洗いを行う。
- (2) 調理する場合、加熱が必要な食品は、85~90℃・90秒以上で十分加熱する。
- (3) 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニル手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系薬剤で消毒する。
- (4) 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【参考】

- ・感染性胃腸炎とは(国立感染症研究所)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>
- ・ノロウイルスに関するQ&A(厚生労働省)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

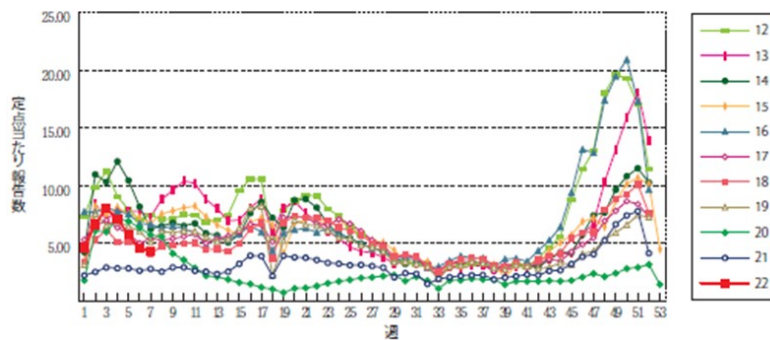


図1 全国の感染性胃腸炎の発生状況(2011年~2022年第7週)  
(国立感染症研究所HPより)

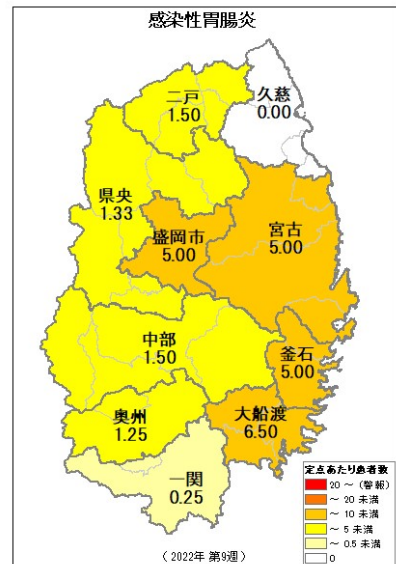


図3 第9週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報(行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。  
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

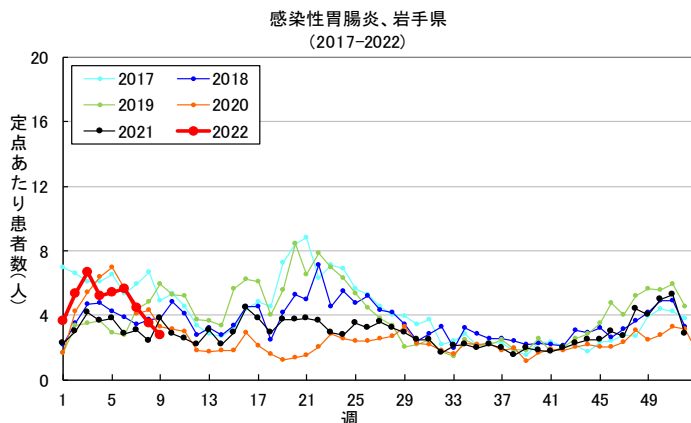


図2 岩手県の感染性胃腸炎の発生状況(2017年~2022年第9週)

## 集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

- ・宮古保健所管内の保育所（園児56名、職員14名）  
2月24日（木）から2月28日（月）にかけて、園児16名、職員1名に症状（嘔吐、下痢等）  
有症者4名からノロウイルスを検出
- ・宮古保健所管内の介護保険事業所（利用者35名、職員19名）  
2月24日（木）から3月2日（水）にかけて、利用者7名、職員4名に症状（嘔吐、下痢等）  
有症者4名からノロウイルスを検出
- ・宮古保健所管内の保育所（園児42名、職員13名）  
2月21日（月）から3月2日（水）にかけて、園児17名に症状（嘔吐、下痢等）  
有症者2名からノロウイルスを検出
- ・奥州保健所管内の認定こども園（園児173名、職員45名）  
2月18日（金）から3月4日（金）にかけて、園児22名に症状（嘔吐、下痢等）  
有症者3名からノロウイルスを検出

## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。



## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

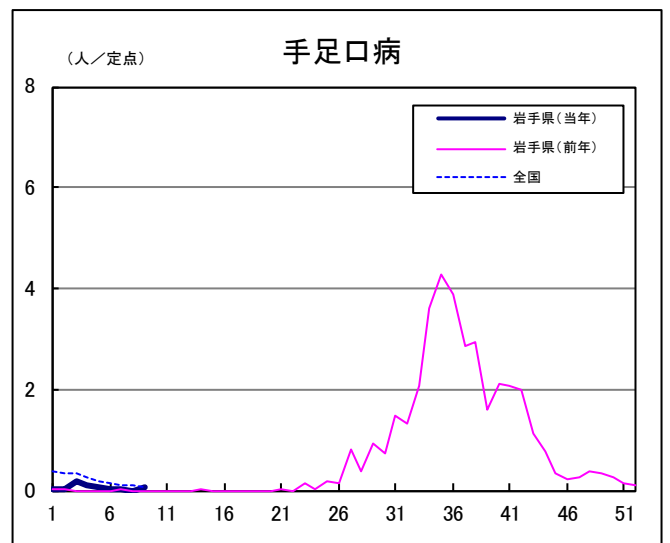
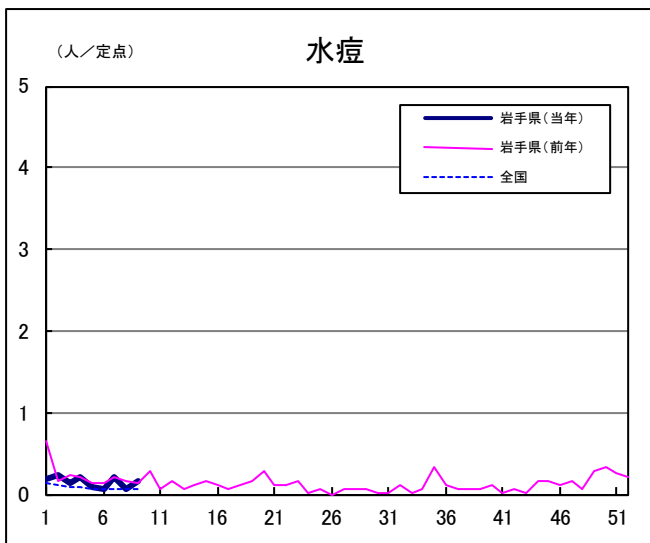
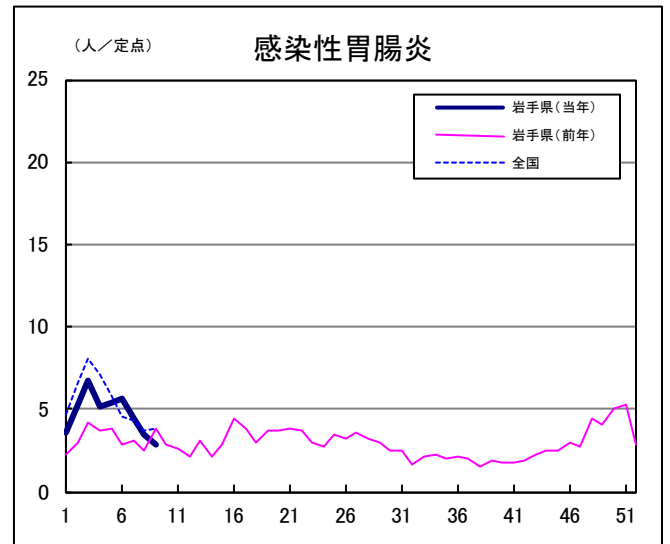
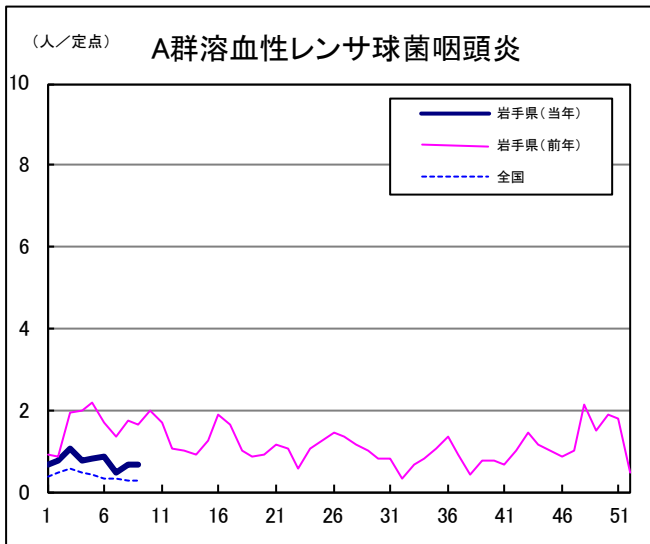
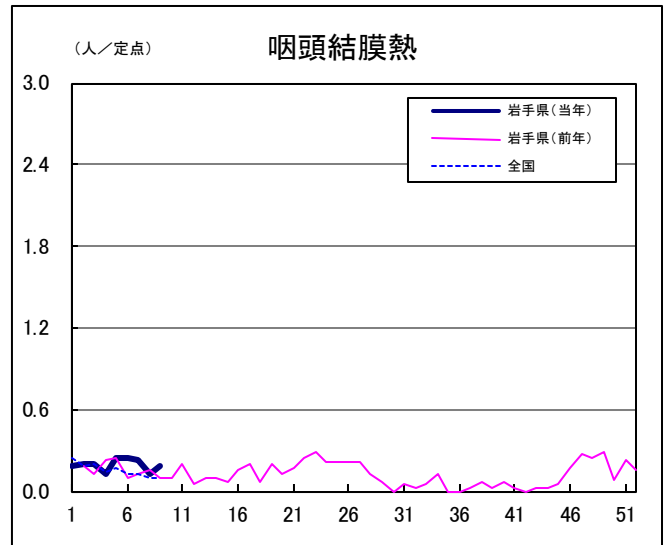
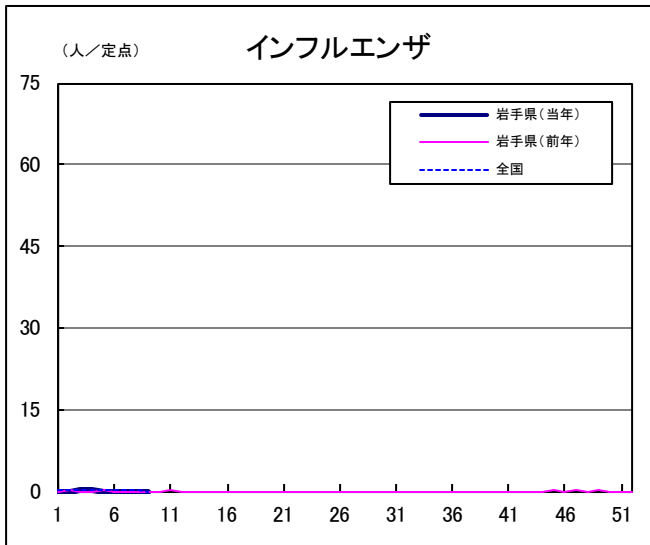
## Q & A

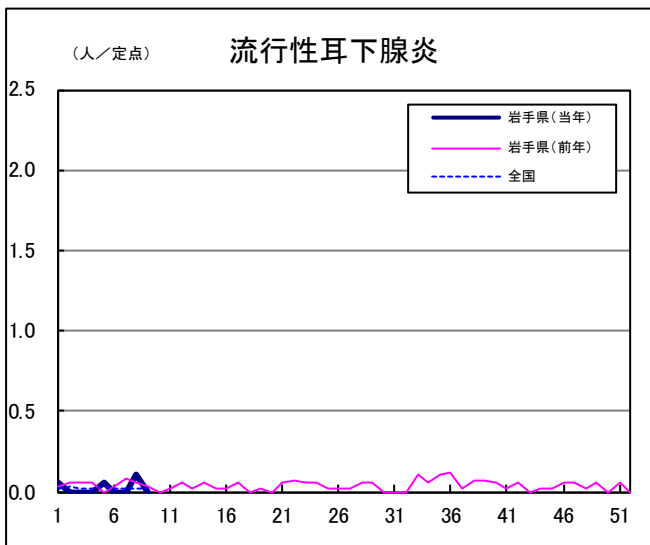
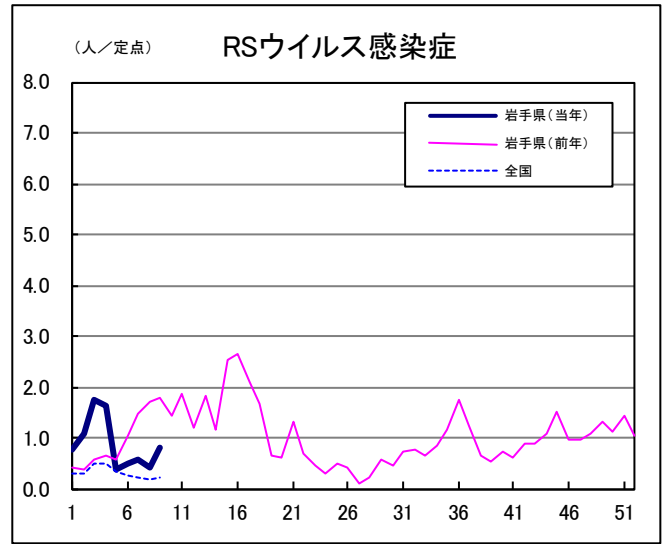
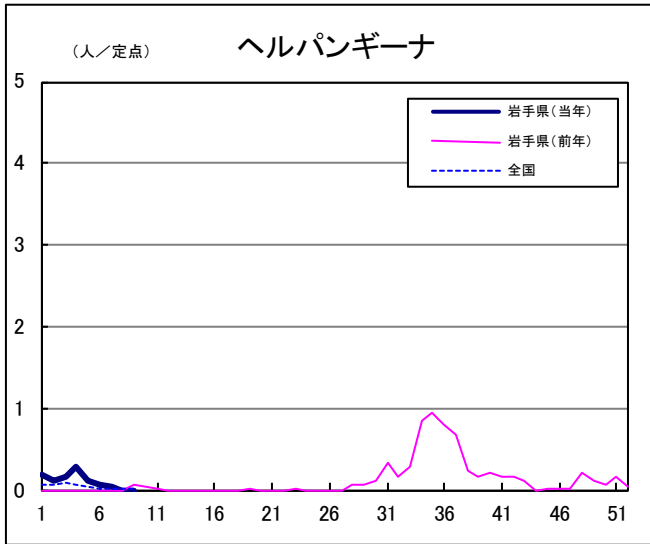
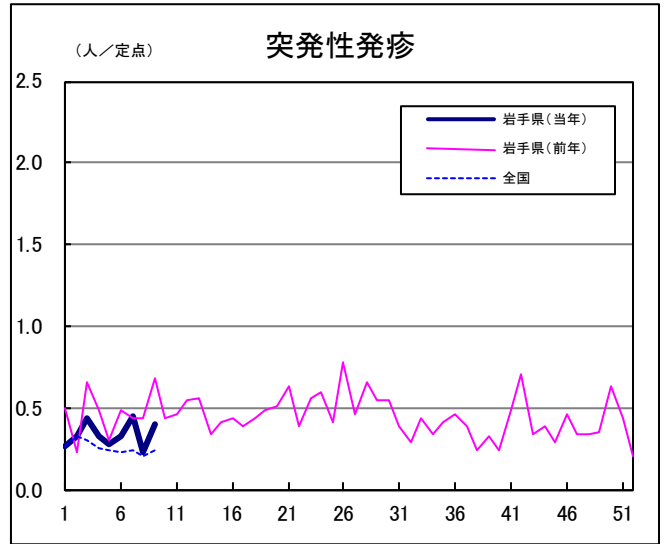
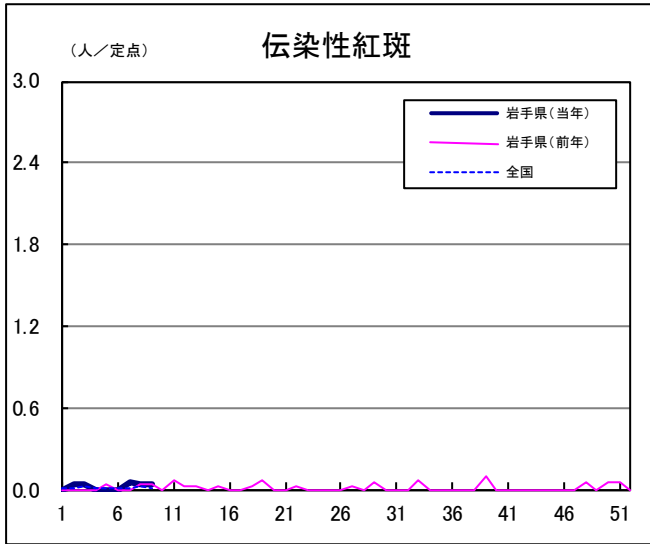
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

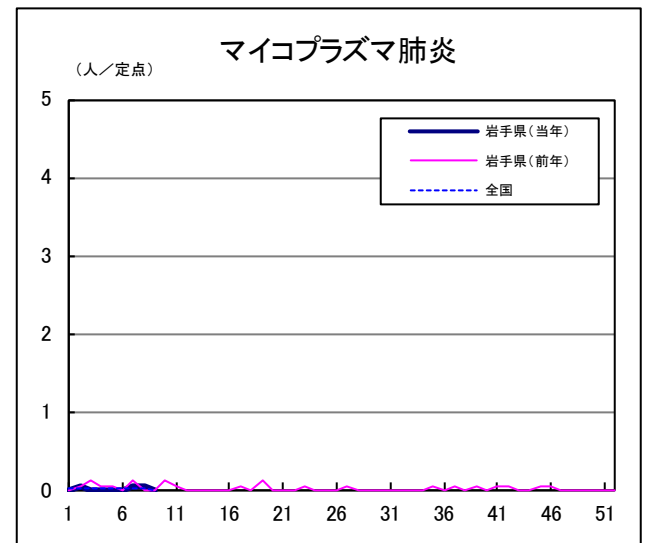
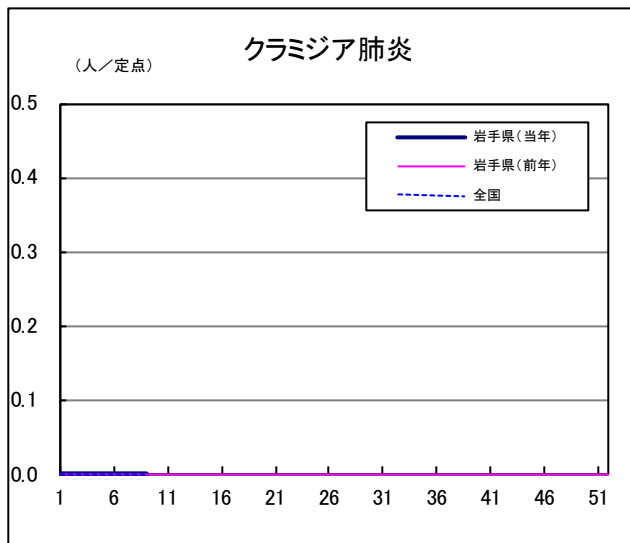
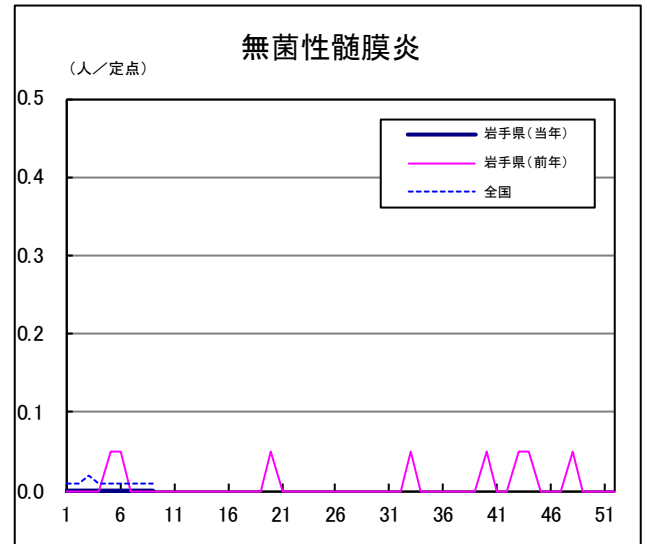
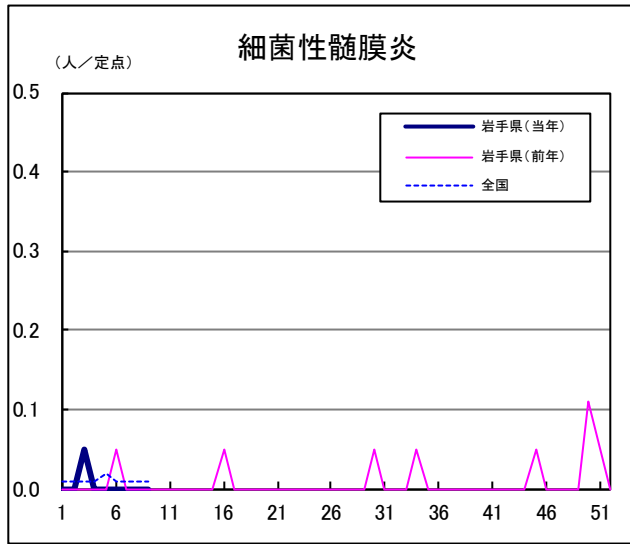
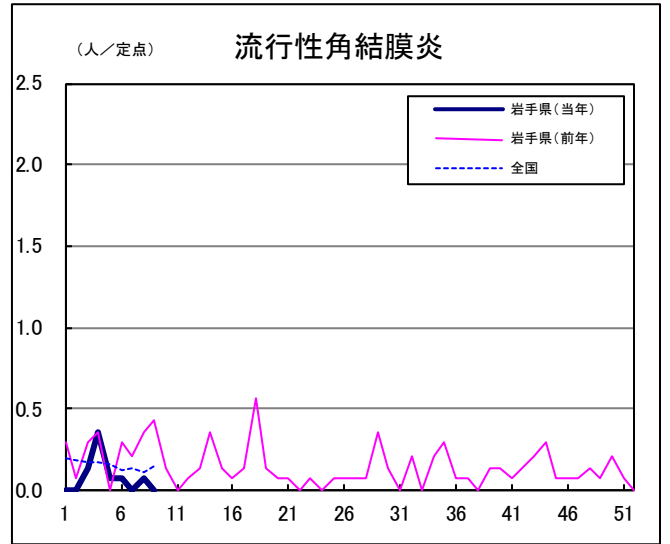
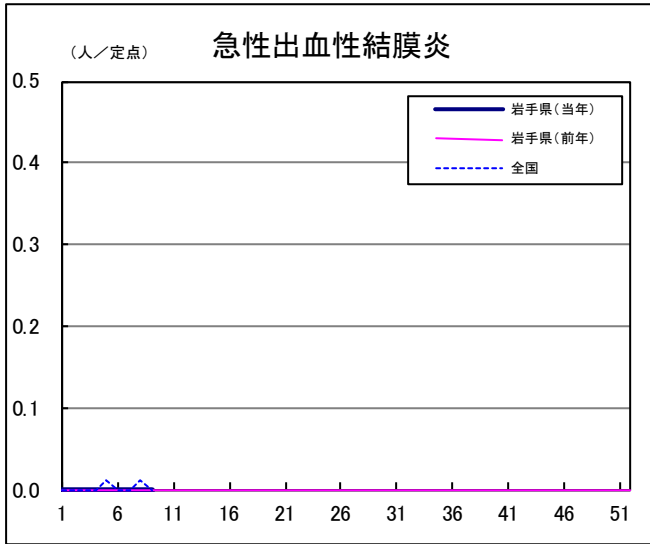
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp



疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	40	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		6	6	2	1
中部		10	6	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		5	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和4年第9週 令和4年3月11日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>